

◆企画名	ピアサポ・ステップアップ会（勉強会）
日程	2025年11月29日（土）13:00～16:00
場所	関西大学千里山キャンパス 凜風館1階 ピアエリア
参加者数	9名（うち、ピア・サポーター7名、研修生1名、本学教職員1名）

目 的

他のコミュニティについて知る機会を作ること。コミュニティの垣根を越えて各メンバーと交流する時間を設け、メンバー間の相互理解を深めることで、今後の円滑なピア・サポート活動に繋げること。ピア・コミュニティにおける活動をガクチカにどうすれば活かせるのかを学び、モチベーションの向上を図ることを目的とし、実施した。

内 容

○スケジュール

- 13:00～13:30 準備
- 13:30～13:40 受付
- 13:40～13:45 開会式（目的やスケジュールの説明）
- 13:45～14:50 講座「ガクチカを語れる学生になる！
～ピア・サポート活動を自分のストーリーにしよう～」
- 15:00～15:30 活動報告会概要説明
- 15:30～16:00 片付け、撤収

○概要

①講座

ピア・サポート活動をガクチカとして活用するために、日々の活動の中でどのようなことを意識し活動すれば良いのかについて、講座を行った。

②活動報告会概要説明

活動報告会への参加経験がないメンバーも具体的なイメージを持てるよう、過去の事例（2023、2024年度）等の紹介を予定していた。しかし、参加者全員が昨年度の活動報告会への参加経験があると判明したため、過去事例の紹介は省略し、検討中の今年度のスケジュール等について説明した。

効 果

- ・講座の冒頭で自己紹介を行ったことにより、気軽で明るい雰囲気の中で講座を受けることができた。
- ・日々の活動のガクチカへの活かし方を学んだことで、モチベーションの向上に繋がった。
- ・参加者に2025年度の活動報告会について共有することができた。
- ・アンケートでは、講座に対して「就活に役立つ内容の講座で良かった」「今後何をすべきか明確にできた」といった肯定的な回答が得られた。活動報告会の説明についても、「活動報告会をイメージすることができて良かった」「昨年の活動報告会が異例であったことを初めて知った」という回答が得られた。

改 善 点

- ・活動報告会の説明については、当初は全て運営本部が担当すると考えていたが、実際は職員の方が概要を説明する流れであった。
→職員の方と、事前にそれぞれの担当範囲や説明内容についてしっかりとすり合わせをすべきだった。
- ・各コミュニティの1年間の活動振り返りについては、参加者が各コミュニティから2名程度と少人数であったため、実施を見送り、当日に中止を決定した。
→申込の時点で参加者は把握できるので柔軟に対応できるように準備しておくべきだった。
- ・スケジュールが予定よりも遅れ、後半の進行にまで影響が出てしまった。
→事前に無理のないスケジュールを組み、もっと内容を詰めておくべきだった。

また、スケジュールが遅れる可能性も考慮し、余裕を持ったスケジュールを設定しておくべきであった。

・途中入退出者への対応が十分でなかった。

→講座の資料を事前に共有することや、入室後に今までの流れを簡単に説明するなど、途中入退出者への対応を事前に決めておく方が良かった。

感想

ピア・サポート活動とガクチカのつながりを学ぶことができ、今までの活動に対して大きな意義を感じた。今後の活動について、ガクチカを少し意識しながら活動しようと思う。また、前は運営本部だけを対象に行われたが、今回は全コミュニティが対象であったため、様々な人と交流することができ、アイスブレイクを楽しく行えた。

